

OSAKA

かなん

議会だより

実施
有料化
520
0

道の駅やん

Y500

令和2年5月臨時会議
令和2年6月定例会議
令和2年6月臨時会議

新型コロナ関連予算P2~7

所信表明・予算特別委員会 ...P8・9

議会提出議案・審議結果 ...P10・11

2020.9 No.148

発行／河南町議会
編集／広報特別委員会

19億9,421万円

(特別会計および水道事業会計含む)

全力!これまでにない最高額の補正

新型コロナウイルス感染症の令和2年度補正予算案は、5月臨時会議(緊急経済対策など)、6月定例会議(町長所信表明、新型コロナウイルス感染症対策の新規事業など)、および6月臨時会議(新しい生活様式的环境整備など)で、20時間にもおよび慎重審議の結果、全員賛成で可決しました。

《補正予算の内訳》

国庫補助金	18億80万円
府補助金	820万円
起債	2,260万円
繰入金 (財政調整基金)	1億1,202万円
繰入金 (教育・子育て)	3,778万円
その他	1,281万円

《5月臨時会議》

緊急事態宣言を受け外出自粛要請、休業、休校など予断を許さない状況下で、緊急経済対策などの事業費を計上。感染拡大防止のため入手が困難な中で、10枚入りマスクを5,500袋購入。地区区長を通じて早期に全世帯へ配布。

基金の取り崩しの一億円をどう使う!住民の苦難に添えてこそ生きたお金の使い道だ!

問 予算編成は何を優先するのか。

答 基本的には生活困窮などの生活支援を考えている。国・府の支援を鑑み、町で出来ることは何か、全体の balan

スを見ながら施策を講じた。

問 基金の繰り入れは、住民生活を第一に考えれば、少な過ぎる。

答 基金の保有高をどれくらいで保つかというバランスもある。先のことも考え、次の波が起る可能性はゼロではないという推測の下に、この金額とした。

問 日々会議をして、新型コロナ対策を進めるべきだ。

答 対策本部会議を開催し、当然、影響を気にしながら対策を講じている。住民の移動範囲、行動範囲が広がり、感染拡大の危機意識をもってやっている。

問 対応は、なぜ世帯単位なのか。

答 こういう危機の時に新しい概念を

新型コロナ関連予算

利用すると、現場が混乱し、時間がかかるということがあるので、ある程度世帯単位でやりつつ、DVなど明らかに世帯単位を押し通すとおかしいというものについては個人給付するなど、バランスの中で考えていく。

問 家族の多い世帯などに更なるマスクの配布を。

答 備蓄マスクで妊婦一人に20枚、ケアハウスに500枚、老人ホーム7か所に1,155枚配布した。マスクと消毒液は必要不可欠なものだが、在庫をゼロにして危機的などきに対応出来ないということもあるので、再度購入出来たら、対応していきたい。

暮らしを応援する支援策

迅速かつ的確に家計への支援を可能な限り早期に実施

●緊急経済対策による特別定額給付金
●住民一人当たり10万円

●それに伴う事務費は1,554万円
●特別定額給付金申請書の発送予定日は。

問 特別定額給付金申請書の発送予定日は。
答 おおむね5月20日ごろの予定。

議会と町がタッグ!

新型コロナ対応に

問 ホームレスやDVなどの制度に対する対応はどうする。

答 支援担当者とともに連携して周知を図る。

●高齢者の生活支援

65歳以上の高齢者 商品券5,000円

町内の登録店(31店舗)で使用可。

●子育て世帯に特別給付

15歳未満の児童一人1万円

●水道料金

基本料金全額免除 4か月無料(4〜7月)

家計にも、経済にも影響をもたらしている状況を踏まえ、基本料金を全額免除することで住民生活並びに経済活動を支援。

問 府営水の受水費用を引き下げよう要望しているのか。

答 企業団に要望している。

問 水道料金の免除はもう少し長期に対応出来ないのか。

答 単年度赤字決算を続けている中で、厳しい判断だが、精一杯の支援をした。

問 各施設の休止で光熱費が浮いてくるはずだが、それを活用できないか。

答 全体でどれくらい経費が浮くか、金額がつかみにくい。設備の点検やプールのろ過機なども動かしているので、思ったほどは減らない。

問 家庭の水道使用は増えている。「2か月間は無料に」と申し入れたが、なぜ、基本料金の減免としたのか。

答 他の市町村も参考に基本料金の減免とした。従量料金は使用した水量に對しての費用となるので、全世帯一律に支払う基本料金の減免とした。

景気を下支えする町独自施策

●町内事業者の休業(減収)支援

一律10万円の支援給付

休業協力金の予算は1,100万円

▼申請方法 郵送申請(感染拡大防止のため)

問 対象となる事業所は。

答 町内に限定し、河南町に本店を有する法人・事業所を有する個人など。

●保護者の休業補償

放課後ディサービス事業(臨時休校に伴うもの)

3月20日から春休み前日まで、学校の休校に伴う保護者の休業補償。

施設に消毒液の設置を!

●庁舎などに必要な除菌液やマスクを購入

問 除菌液は購入出来るのか。

答 非常に購入出来ない状況だが、

各課が連携して努力する。

問 どのようなものを購入するのか。

答 アルコール濃度70%以上の消毒液を購入する。

問 安価で出来る製造機械があると聞く。

答 民間では、次亜塩素酸水を配布しているところもあるので申請してみる。

学校教育について
(小・中学校などの休校に対応)
児童・生徒が自宅で
学習を進められるように



●小・中学校のオンライン授業整備

問 オンライン学習の内容は。

答 教職員が授業風景を撮影・動画編集を行いHPにアップして、それを子どもたちが自宅で視聴する。

問 学校統合を契機に、子ども同士のふれあいの中で人間として成長する道を選んできたが、その環境は変わるのか。
(次項へ続く)

問 集団で学ぶ、先生との交流、子どもたちとの学び合いの中で成長していく視点も忘れず考えていく必要がある。

問 家庭環境は千差万別、同じように勉強出来る環境とはなっていない。

答 環境の度合いも含めて効果が出るような対応を考える。

収入が減って大変

●学校給食の助成について

小・中学校の給食費を半額助成する。

問 学校給食費の補助は全額助成出来ないのか。

答 今年度（3月末まで）は2分の1の助成を考えている。

●新型コロナウイルス対策 職員の執務室を分散

LANケーブルなどの機材を購入
庁舎や出先機関に窓口用のアクリル板パネルも

●傷病手当金の申請（条例改正）

新型コロナウイルス感染症に感染、または疑われ、労務に服することが出来ず給与などの支払いを受けることが出来ない場合、給与の3分の2を手当として給付する。

▽対象者

・国民健康保険または後期高齢者医療保険加入の被用者

・新型コロナウイルスに感染した人、発熱などの症状があり感染が疑われた人で療養のため働くことが出来ない人
・給与の支払いを受けられない人
▽適用期間
1月1日から9月30日（入院が継続する場合などは期間延長在り）

問 農業従事者またはパート勤務者は対象となるのか。

答 農業者は対象とならない。パート勤務は給与をもらっているので対象になる。

問 申請の手続きが難しい。

答 書類の書き方は役場の窓口でサポートする。

《6月定例会議》

町長の所信表明での子育てなど、子どもに対する新型コロナウイルスの感染症関連施策を審議。

子どもの新時代を切り開くGIGA構想 次世代に向けてどのように取り組むのか

●小・中学校 一人二台端末や通信ネットワークの整備

問 パソコンはすぐ導入出来るのか。

答 文部科学省が全国の必要台数を調査し、国がメーカーに働き掛けをして

いる。

問 LANケーブルの工事のスケジュールは。

答 工事については年度内に業者と話し合いながら対応する。

問 保護者負担はどうなる。

答 個人負担は一切考えていない。公費負担ですべて整備する。

問 ネット社会の犯罪に巻き込まれないように、基準が必要だと思うが。

答 子どもたちを守るといえるのは当然で、取り扱いを進めていきたい。

●児童扶養手当受給世帯へ経済的支援

一世帯3万円

●学校給食食材にかかる違約金

学校休校に伴う給食休止分の食材、給食のキャンセルに伴う違約金相当分

●国民健康保険・介護保険 条例改正

新型コロナウイルスの影響により、収入などが減少した場合、保険料の免除を行う。減免は、令和元年度分と令和2年度分令和2年2月1日からの適用となるので、遡及適用が可能。

問 どのような提出書類が必要となるのか。

答 死亡診断書、病院の診断書、確定申告の写し、源泉徴収票の写し、事業所の証明など。

給食費無料 半額助成

（5月臨時会議）

特定定額給付金



一人当たり 10万円

（5月臨時会議）

地域通貨付与 （買い物支援）

3,000円分
（6月臨時会議）



公共施設など 自動噴霧消毒スタンド 顔認証体温測定器

（6月臨時会議）

児童（15歳未満） 一人当たり1万円

（5月臨時会議）



水道の基本料金 4ヶ月分無料

（5月臨時会議）



住民向け マスク 10枚 （5月臨時会議）

夏マスク
こども園・小中学校の
児童・生徒一人3枚
（6月臨時会議）

《6月臨時会議》

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けている住民への直接支援や小・中学校、こども園などに空調設備を整備。また、経済活性化策や新しい生活様式の基盤づくりを行う。

機敏な対応で

住民生活を守れ

問 臨時交付金は試算では2億2,197万円が交付される。差額の7千万円はどうするのか。

答 主に環境整備になると思うが、次の議会までに内部でまとめて提案する。

問 どういった視点で提案したのか。

住民の声は吸い上げたのか。

答 新しい生活様式の環境整備に重点を置いた。議会での質問内容や、庁議などを踏まえて検討した結果だ。

問 高校生に3万円、重度障がい者は2万円、保育従事者は2万5千円とこれではアンバランスではないか。

答 一律に同額ということではなく、それぞれに応じた内容で金額設定した。生活支援は特別定額給付金でフォロー出来ていると考えている。

問 ぶくぶくドームを避難所に指定出来ないのか。

答 土砂災害警戒区域内の建物は避難

所に指定出来ないようになっている。

新しい生活様式で 日常生活を取り戻す ための施策は何か

住民への給付

●子育て応援特別定額給付金給付

令和2年4月28日から令和3年3月31日までの出生児一人10万円を給付

●重度障がい者生活支援（重症化しやすい人への配慮）

重度障がい者に一人2万円を給付

●重度障がい者の補助内容は。

答 インフルエンザワクチン接種やマスク、消毒液、体温計など、必要な消耗品などを用意してもらう。基礎疾患を持つておられると重症化しやすいので、その予防のため。

問 障がい者のインフルエンザは1,000円で対応すべきだ。

答 65歳以上と60歳から64歳までの障害者手帳一級相当の方は1,000円の負担で受けられる。59歳までの重度障がい者は任意接種なので、町が助成するとすれば、副作用など救済制度も含めて研究させていただきたい。

●キャッシュレスで使えるように

（電子地域通貨導入事業）

住民一人に3,000円分の地域通貨を付与し、町内の買い物などの生活支援。

新しい生活様式を踏まえた社会的な環境整備や地域経済活性化などを図る。

●電子通貨とはどういう仕組みか。

答 電子の地域通貨を利用し、キャッシュレスによる地域を限定した消費喚起などを行える仕組みを導入する。現金授受に比べると新型コロナウイルス感染のリスクは少ない。個人商店に負担にならないような仕組みの構築も考えている。

問 スマホを持っていない人もいる。対応出来ない人にどのように対応するのか。

答 決済はスマホを想定しているが、スマホなしでも何か対応出来ないか検討している。

問 対象は19歳から64歳まで。65歳以上は、なぜ対象に含まれないのか。

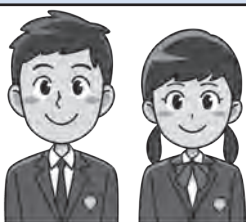
答 65歳以上は別の支援がある。支援がないのはさまの人を対象とした。

●学生の不安に支援策を

高校生生活支援給付

高校生世代（町住民）に対して、一人3万円を給付

（次頁へ続く）



高校生世代
一人当たり3万円

（6月臨時会議）



出生児
一人当たり10万円
4月28日～翌年3月31日

（6月臨時会議）



小・中学校
オンラインカリキュラム
一人一台
タブレット端末貸与
（6月定例会議）



高齢者への商品券
5,000円配布

（5月臨時会議）



問 QUOカード支給の支援内容は。

答 高校が休校になっていたため、学習支援のため図書券や参考資料など勉強に必要なものの購入に充てる。

問 親が使うということもあるが、どう担保するのか。

答 PRして高校生に使ってもらう。

問 なぜ高校生だけか。大学生の支援はないのか。

答 大学生は、学生支援緊急給付金が国制度で制度設計されている。

●保育従事者応援給付金

こども園・保育所・学童施設などで勤務する住民に対し一人2万5千円を給付。

●夏マスク配布

(健康管理の強化、熱中症対策も)
町内こども園の園児、小・中学校の児童・生徒などおよび職員に夏用マスク3枚を支給。

●ひとり親世帯臨時特別給付

児童扶養手当受給ひとり親世帯5万円。

施設利用の環境向上

ストップ感染拡大

新型コロナウイルス感染症対策

○体温測定器 自動噴霧消毒スタンド
サーキュレーターなどを購入

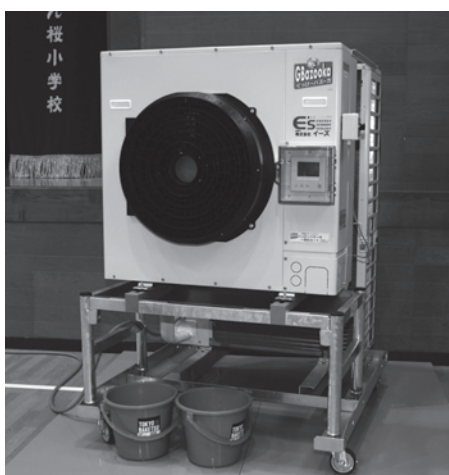
問 体温測定器は誰が体温をチェックするのか。

答 測定器の前を通ったら、感知するようになっている。熱のある人は音で知らせ記録も残る。学校などでは、顔と人を登録することもでき、後でチェック出来る。役場には地下と玄関の入り口に設置する予定。

「次なる波」に備えて

2波に備えて自然災害の対応も。

●小・中学校および中村こども園、体育館に移動式クーラーを整備



議会もソーシャルディスタンス

●議会でも感染拡大防止に細心の注意を払いました。

議場の議員席は2人席から1人席にして、間隔を広くとり、理事者席についても3人席を2人席にしました。また、1時間に1度、10分間の休憩を入れ、その間、入り口扉をあけ換気をしました。

傍聴席は過密を避けるため、議場内の傍聴席を閉鎖し、301会議室での傍聴としました。傍聴方法は、人と人の間隔をあけた状態で着席し、窓をあけ、換気にも配慮した状態で行いました。

問 移動式の簡易エアコンはどのようなものか。災害にも役立つのか。

答 スポットクーラー的な強力な風量と温度設定・管理が出来る。

平面移動であれば楽に移動が可能。分散授業が出来るように導入する。避難所での活用も視野に入れている。

3密防止環境の構築

働き方の新しい
スタイルも目指して

執務室を分散するために必要なLANケーブルなどの機材を購入

●庁内ネットワーク無線化事業

3密対策として庁内（事務室・会議室など）の無線LANの環境整備

●議会新型コロナウイルス感染症対策事業

議員用タブレットを貸与し、ペーパーレスやリモートでの会議環境を構築

問 庁舎が一番密になっている。職員のPCR検査を予算計上出来ないのか。

答 密に関しては、分散体制で仕事が出来るように、庁舎内のLAN整備を行

う。どこでもパソコンで仕事出来る環境を整える。PCR検査については、基本的には自己管理でお願いしたい。

問 自己管理も必要だが、PCR検査をやるのが2次感染、3次感染の拡大防止をすべきでは。

答 抗体検査を実施したいという考えは持っているが、富田林医師会管内での協議、調整する必要がある。

給料カットでコロナ対策を

●町長の給料3か月3割カット 84万7千円削減

問 給料をカットするには理由がある。災害があるたびにカットするのか。

答 新型コロナウイルスによる感染は、災害に匹敵するものではなく、それ以上の別次元のもの。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、減収となる住民と共にある町長、そして、減額となるものをコロナ対策の一部に充てるため給料の減額を行う。





町長の所信表明を問う

町議会では、6月定例会議において、初めて所信表明した森田町長に対して、色々な質問を行いました。

ここでは、5月の臨時会議や予算特別委員会などでの主な質疑を掲載します。

▼町長が住民にお約束する3つの基本政策▼

1 「安心して暮らせるまち」

- 移動手段を確保することによる外出機会の増加
- 全世代型福祉の推進
- 防災行政無線の更新
- 国土強靱化地域計画の策定

2 「子育て・教育のまち」

- 妊産婦の悩み解消に側面から支援
- 幼児教育として第2子以降の保育料の無償化を継続
- 22歳までの医療費助成制度の継続
- 5G時代に対応した教育環境の整備
- 学校給食の無償化

3 「新たな元気を創出するまち」

- 基幹産業である農業をさらに発展
- 町と関わりのある人口（関係人口）を増加
- すべての世代での生きがいを支援

所信表明に対する 主な質疑

副町長人事

問 2か月過ぎて副町長が不在であるが、町長の真意は。

答 現在、調整している。副町長は必要であるという認識には変わらない。

運営方針

問 町長の重点施策は。

答 まずは、前町長の政策を継承し、次に発展させていく方針。具体的には、子育て・教育施策を重点化していく。そして、人口の定着化を図るための町の活性化に取り組みたい。

問 森田町政は拡大路線なのか、縮小路線でいくのか。

答 簡素な事務処理法による勤務時間の削減を目指す。一方で中身（ソフト）の充実を図りたい。

資源開発

問 観光資源の開発についての考えは。

答 観光資源として生かすのか、住民の憩いの場として生かすのか、両方の側面から考えていく。行政単独、民間協業、地域住民との協働などの方法も考えていく。

所信表明・予算特別委員会

問 所信表明した豊富な資源とは。

答 資源は人。住民の行動や活躍は、町の持っている可能性。この資源を生かしたいと考えている。

問 インバウンド需要獲得についての考えは。

答 今はインバウンド需要が冷え切っているが、通常に戻ったときに対応できる体制を構築したい。

問 新規来訪者を獲得するために何をやるのか。

答 SNSなどによる情報発信を研究する。また、国籍を問わず町の情報を発信してもらうモニター導入も考えたい。

地域公共交通

問 カナちゃんバス・やまなみタクシーは今のままでいいのか。改善の必要性についての問題意識はあるのか。

答 現行のシステムは、車を利用出来ない住民にとって掛け替えのない移動手段になっている。この形が好ましいのか否かについては、公共交通会議の意見を踏まえて判断したい。

問 広域的な公共交通体系についての町長の考えは。

答 駅へのバス路線はある。広域的に町の公共交通を走らせるには既存事業者との調整が必要であるが、取り組みたい。乗り継ぎの充実も図りたい。

避難所のあり方

問 コロナ禍での避難所のあり方について。

答 新型コロナウイルスの特性から3密を避ける必要がある。避難所運営については危機管理室で運営マニュアルの作成を考える。

大阪南部高速道路

問 高速道路設置の推進に向け、どのように取り組むのか。

答 大臣や国土交通省への働き掛けが必要であると考え。しかし、コロナの状況を見極める必要がある。

町長による情報発信

問 トップがSNSを通じて情報発信することの意義は。

答 行政からの情報は発信主義であるが、個人的に出すものについては双方向で発信出来ている。戸惑いもあるが、住民に伝わるのであれば活用していきたい。

予算委員会での 主な質疑

農林水産業費

○長坂・北加納地区ほ場整備

問 過去の教訓を活かし、地区で合意してほしいが、どう取り組むのか。

答 今回は先に同意者を集めて事業化した。全て同意を頂いた。

問 何年計画でやるのか。

答 令和4年ぐらいに事業化を目指す。

土木費

○大宝歩道のアスファルト化

問 今後の予定は。

答 15%が完了している。完成までに20年掛かるが、見直して事業を進める。

○大ヶ塚公園

問 大ヶ塚公園は高齢者が夕方集まってくる。ベンチなどの設置をしてももらえないか。

答 公園施設に関しては、別の事業で考えていく。

消防費

○防災行政無線のデジタル化

問 デジタル化しても聞こえないと住民から指摘を受ける可能性は。

答 遮音性、防音性に優れた家を閉め切った場合、聞き取りが難しい。

問 近隣市町村が行っている、放送が聞き取れなかった場合、電話で確認出来るようなシステムは導入出来ないか。

答 入れ替える機器の中で、他メデア連携装置の導入を検討している。

○国土強靱化地域計画策定

問 委託せずに町職員で出来ないのか。

答 大阪府の計画との整合性と計画漏れを無くすという点から委託する。

教育費

○中村こども園整備

問 夏場の遊具は熱い。材質など考慮したのか。

答 自然木を使用しており、温度については安全。強度のある素材を使用している。

○大宝地区公民館の長寿命化

問 この計画は部分改修か、大規模改修か。

答 長寿命化の基本設計。

下水道事業特別会計

問 下水道への繰り出し、継続的に赤字が続いているが、何とかならないのか。

答 資金ショートしないような形で補充している。経営的に何が必要かというところも検証したうえで、料金の見直しも今後必要になってくる。

問 赤字を減らす方法は考えるべきだ

答 独立採算制が大原則だが、今までは普及促進ということで整備してきた。今後は、更新や管理という時代が変わっていくので、料金の見直しも必要になってくる。

《主な予算内容》

○印は、今回掲載している事業。

○大宝地区公民館長寿命化計画策定事業	60万円
移動式赤ちゃんの駅貸出事業	29万円
児童扶養手当受給世帯等臨時特別給付金給付事業	302万円
学校施設の長寿命化計画策定	180万円
小学校プール改修事業	574万円
○小学校GIGAスクール構想事業	7,909万円
○中学校GIGAスクール構想事業	3,834万円
学校給食臨時休業支援事業	131万円
無人航空機（ドローン）運営事業	77万円
○国土強靱化計画策定事業	350万円
土地改良整備調査事業	2,210万円
緊急自然災害防止対策事業	880万円
農業水路等長寿命化・防災減災事業	400万円
土地改良区管理施設整備事業	262万円
かなんにぎわい創出事業	100万円

議員が提案した議案

否決

野村議員と河合議員へ 辞職を求める決議

健康増進法が改正され、役場庁舎での喫煙は違法となったが、野村議員と河合議員は議員控室で喫煙を続けている。緊急事態宣言中に、勤務中の職員が同席する場でも喫煙しており、住民を裏切る残念な行為と認識するよう何度も注意をしたが、改善の見込みがないため辞職を求める。

可決

河合議員に対して 懲罰が求められる

議員控室での喫煙が発端となり、辞職を求める決議が出されたが、事実確認する時間が不十分であったために否決となった。また、否決となった直後に、河合議員による「議会はぬるい」と発言があった。これらの言動は議会を軽視し、侮辱するものである。事実を確認して適切な処罰を行うために提案する。

河合議員が陳謝

私は、令和2年6月2日の6月定例会議において、私自身の辞職勧告決議案の中で触れられました議員控室での喫煙という議員として自覚に欠けた行為、また、引き続き行われた議員提出議案の審議の中で、「議会は非常にぬるい」と発言し、議会及び議員の活動を軽視し、地方自治法第132条及び本町議会会議規則第102条に抵触するような不穏当な言動を取っていました。議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責を省みて、誠に申し訳ありません。ここに深く反省し、誠意を披瀝して陳謝します。
令和2年6月19日

河南町議会議員 河合英紀

可決

町長、副町長、教育長の 退職手当に関する条例

前武田町長により、大阪地方裁判所に損害賠償請求の訴えがなされていたが、本人死去に伴い、裁判所から和解案が提示された。この条例は、和解案に沿って条例の改正を提案する。

否決

議員報酬に関する条例

全議員が自らの身を切り、新型コロナウイルス対策に役立てるよう、報酬を削減することを提案する。なお、削減額は概ね全議員で合意した10%とする。

可決

議員定数に関する条例

新型コロナウイルスなどの影響で、河南町でもますますの財政悪化が予測される。住民福祉に使えるよう定数12人から10人に2人削減することを提案する。

否決

新型コロナ対策 委員会に関する提案

新型コロナウイルス対策について議論するための公式の場を設けるよう提案する。住民の声を集約した議員と、対策を制度化する行政が、協議しながら対策を講じることで、住民の声に密着した対策が実現する。

可決

議会改革特別委員会に 関する提案

議会基本条例制定を最終目的としているが、議員定数が2人削減されたこともあり、常任委員会の定数や会議規則の見直しなど議会機能をさらに充実させる必要があるので提案する。

審議結果および可決議案・同意議案

● 5月臨時会議

各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、／…審議不参加、欠…欠席、―…議長)	審議結果	河合英紀	大門晶子	野村守	佐々木希絵	廣谷武	福田太郎	力武清	中川博	浅岡正広	加藤久宏	田中慶一	小山彬夫
件名													
功労者の表彰について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
町長、副町長及び教育長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	―
河南町高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
令和2年度河南町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
令和2年度河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
令和2年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
令和2年度河南町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約等の変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―

● 6月定例会議

各議員の表決 (○…賛成、●…反対、△…除斥、／…審議不参加、欠…欠席、―…議長)	審議結果	河合英紀	大門晶子	野村守	佐々木希絵	廣谷武	福田太郎	力武清	中川博	浅岡正広	加藤久宏	田中慶一	小山彬夫
件名													
町長、副町長及び教育長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	―
河南町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	―
監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	―
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	―
河南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	―
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置について	否決	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○	●	―
河南町議会改革特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	―
議員辞職勧告決議	否決	△	●	△	○	○	●	●	●	●	○	○	―
河合英紀議員に対する懲罰の動議	原案可決	△	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	―

全会一致の可決議案・同意議案

件名	
河南町税条例の一部を改正する条例の制定について	河南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
令和2年度河南町一般会計補正予算（第2号）	令和2年度河南町介護保険特別会計補正予算（第1号）
令和2年度河南町下水道事業会計補正予算（第1号）	河南町農業委員会委員の任命について
町有財産の譲渡について	河南町農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするに関する同意について
河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	河南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

● 6月臨時会議

全会一致の可決議案・同意議案	
件名	
令和2年度河南町一般会計補正予算（第3号）	



河合 英紀 議員

問 介護予防の今後の取り組みは

答 総合事業を定着させていく

介護予防事業の 支援・充実を

問 地域介護予防活動支援事業は具体的に何を実施しているか。

答 いきいき百歳体操の

スタート応援や介護予防サポーター養成講座などを開催している。

問 中村地区など、いきいき百歳体操が開始され、5年目を迎えるが、マンネリ化への対策は。

答 いきいき百歳体操の簡易版からスペシャル版への移行。口腔機能向上のために、かみかみ体操を紹介してきた。今後も、脳トレや新しい体操についても研究する。

防を推進する会議を運営している。

問 第七期河南町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画にある「自立支援・重度化防止の視点に立ったケアマネジメン

地域包括ケア システムの充実を

問 地域包括ケアシステムとはどのような事業なのか。

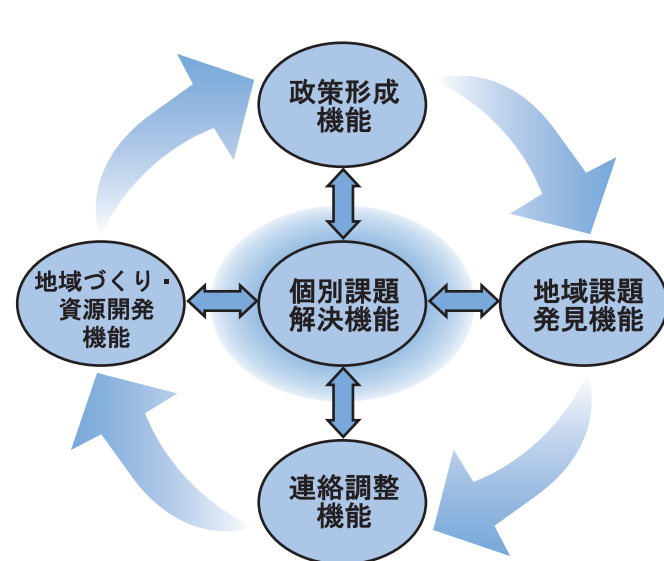
答 地域ケア会議の運営である。地域ケア会議は、住民の代表者が地域課題を検討し、地域づくりや資源開発の検討を行うとともに、専門職が個別ケースを検討し、要支援状態の予防や改善を目指し、自立支援を進めて介護予

トの強化」とは具体的にどのような工夫をしているのか。

答 専門職による個別ケース会議を開催し、専門職から受けた助言を基に、自立に向けた支援計画を利用者と検討している。必要に応じて専門職の訪問指導が必要と判断された場合は、専門職が直接訪問指導を行う。

問 地域ケア会議で抽出された地域課題は何なのか。

答 高齢者の地域での見守り体制づくり、高齢者の移動支援、通いの場づくり。ケアアセスメントの介護予防要支援者などの自立支援に向けた、より専門的な指導を行う。



▲ 地域ケア会議で出された地域課題は何か

問 課題の解決策は。

答 介護予防・日常生活支援総合事業にあたる、移動支援事業の訪問型サービスDの事業助成。通いの場づくりには通所型サービスBの開始。要支援者等の自立支援に向け

問 第八期河南町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画にむけ、今後の高齢者施策はどのようなと考えているのか。

答 河南町の健康寿命は、府内平均よりも高い。これを伸ばしていく介護予防事業の充実させ、市町村中心で実施する総合事業を定着させていく。



▲ 5年目を迎えるいきいき百歳体操。マンネリ化の対策は



大門 晶子 議員

問 町長のまちづくりの決意は

答 組織も機能的に改革する

問 業務の見直しは誰が判断するのか。

答 町長の決裁を受け、庁議により決定する。

問 行革は今が契機だと思うが、町長はどうお考えか。

答 組織も含めて体制を検討し、新しいまちづくり計画の中で生かせるような形になれば、一番いいと思うので、着手していきたい。

問 都市計画税は課税停止となっているが、新たなまちづくりに向けて、復活できないか。

答 賦課することは、今は難しい。

問 業務の効率化は多面的に改善内容を提示し、民間委託を進めてほしい。

答 狙いや目的を明確にしたうえで、行政サービスの低下を招かないよう留意し、民間委託は進めていきたい。

問 ごみ減量に向けて、有料指定ごみ袋制の導入の検討を。



▲ 有料指定ごみ袋制の導入を

答 本町が単独で検討するには、課題が多い。組合管内市町村と足並みをそろえて検討していく課題かと考える。

問 さまざまな行政サービスにおいて地域間格差が生じている。受益と負担の公平性という観点から、是正に向けた検討を。

答 地域間格差が生じないよう、適切な予算配分、事業実施に努めていく。

問 大宝連絡所をはじめとする、出先機関の整理についてのお考えは。

答 廃止に向けて検討する。

町有財産の有効活用を

問 中村小学校の体育館の跡地利用の実現は。

答 地域や老人クラブと協議する。

問 庁舎に近い空き施設を利用し、社会福祉協議会に管理を任せ、地区福祉の向上を図れないか。

答 社協の活動方針や意見を踏まえつつ、相談があれば前向きに検討する。

問 各種団体の補助金、助成金、行政委員の報酬などの見直しを。

答 安易に前例踏襲による補助金の査定ではなく、団体を所管する担当部署と詳細なヒアリングを実施する。行政委員の報酬については、府内の町村や、近隣市町村の改正状況や具体的な報酬などを調査したい。

問 行革と同時に、機構改革に着手する考えは。

答 行政の効率性を阻害しているなどの問題が出てくるのであれば、組織の在り方も含めて見直しをかけていく。

問 町長のまちづくりの決意は。

答 財政状況は厳しい状況になっている。スクラップ&ビルドをやっていく。組織も機能的なものにする必要があるとの指摘を受け、改革に向けて行革に着手していきたい。



▲ 行革と同時に、機構改革に着手する考えは



野村 守 議員

問 年末年始のテニスコートの収入

答 直近3年間で22万5千円

多目的運動広場、
年末年始の開放

問 テニスコートを年末

年始に開放したことにより、わずかも収入増となっている。同様にさくら坂にある多目的運動広

場も年末年始に開放すれば、たとえ少額でも収入増になると考えるが、可能か。

答 テニスコートを年末

年始に開放するに至った経緯は硬式テニス連盟の要望により平成21年1月

▲ 年末年始も多目的運動広場の開放を

から、利用者が責任を持って使用することを前提に貸し出しを始め、その後、平成22年に規則を改正し年末年始の12月29日から翌年1月3日までの貸し出しを始めた。この時に他の施設についても貸し出し希望の聞き取りを行ったが、年末年始の開放の要望は無かった。なお、テニスコートは役場庁舎横に近接しており、緊急事態が生じた場合、宿直や警備員を通じ、職員が対応することになっている。多目的運動広場に関しては、管理面で不十分である事、隣接住民の意見も聞く必要があり、現状では難しいと考える。

かなんこども園・
中央保育園

問 令和2年3月でかな

んこども園・中央保育園が閉園した。跡地の活用はどうするのか。

答 中央保育園は旧図書

室(旧庁舎)や旧町民体育館などの未利用施設と続いた立地にある事から、一体的な土地利用について検討する。かなんこども園は地域コミュニティ施設としての利活用が有効であると考えており施設の利用の方法や管理の方法などについて地区と協議して検討する。



▲ かなんこども園と中央保育園の跡地活用は

特別定額給付金

問 特別定額給付金の財

源は。総支給額は。

答 財源については、全

て国債で国の借金。支給額は約12兆9,000億円。

問 国債の発行残高は。

国債は誰が保有しているのか。

答 国債の残高は、財務省の資料によると、令和元年度末で約9兆87兆5,886億円。また、

令和2年度第一次補整予

算まで織り込んだ、令和2年度末の残高の見込みは約1,038兆3,060億円。国債の保有者は、

日本銀行が全体の約46.8%で約4兆85兆円。民間の金融機関銀行などが約14.9%で1兆54兆円。

生命保険・損害保険会社などが21.1%で2兆1兆8兆円。公的年金が4.1%で4兆2兆円。海外投資家が7.6%で7兆8兆円。家計・個人が1.3%で1兆円。



佐々木希絵 議員

問 災害発生時のコロナ対策は

答 一つずつ体制を整備していく



▲ ダンボールベットの備蓄を

問 感染症の恐怖が治らない中で災害時の対策も変化している。河南町の対策状況は。

答 対策は多岐にわたるが、大阪府のマニュアルを参考にして対応する。

問 現在の整備状況は。

答 整備内容を検討中である。

問 医療体制が崩壊する恐れがある。対策は。

答 医療救護本部をかなりぴあに置き、6人の医師を中心に、速やかに医療活動を実施する体制を構築している。

新型コロナウイルス対応 臨時交付金の使い道

問 韓国ではインフルエンザ予防接種の無償化を検討している。コロナとインフルエンザのダブル流行を避けるために、河



▲ コロナとインフルエンザのダブル流行をおさえるためにインフルエンザの予防接種無償化を

南町でもインフルエンザの予防接種へ助成しては。

答 65歳以上の高齢者へはすでに助成している。

全住民には難しいが重度障がい者など感染症リスクが高い住民に検討する。

公衆トイレの防犯対策は

問 公衆トイレの数と防犯対策の現状は。

答 町管理の公衆トイレは10箇所あるが、その内の2箇所は防犯対策として異常を知らせるブザー

や赤色灯を設置している。

問 10か所ある公衆トイレのうち、2か所しか防犯対策がとられていない。明らかに不十分では。

答 すでに設置しているブザーでいたずらも発生している。防犯対策について、巡回点検の回数を増やすなど研究する。

スーパーシティ 住民の合意形成は

問 スーパーシティ法が可決した。人口知能やビ

ッグデータを活用し、企業と協力して実現させるプロジェクトだが、営利目的の企業に住民の個人情報管理させる点で不安がある。住民の合意形成はどのように図るのか。

答 内閣府令を確認し、対応を考える。

問 河南町では、パブコメなど情報を知らない人には意思を表明する機会がないまま物事が進むことがあった。住民の合意形成をどのように捉えているのか。

答 合意形成の対象をどうするのか、内閣府の指針を見て判断する。

ムーンショット目標 河南町では

問 ムーンショット目標について、河南町ではどのように向き合っているのか。

答 ムーンショット目標自体知らなかった。勉強していく。



廣谷 武 議員

問 コロナ禍、第2波第3波対策

答 国から2億2千万円補助あり

各施設の感染防止策

問 役場庁舎については。

答 定期的に換気を行い、各出入り口にアルコール手指消毒液を設置し、カ

ウンターなどに飛沫感染防止アクリル板を設置するとともにカウンター上

部にはアクリルシート設置した。また同時にマスクの着用を徹底する。新

しい生活様式を要請。

問 教育委員会所管の対応は。

答 発熱や風邪症状があ

る場合自宅療養を促して登校しないよう指導。登校時に健康観察カードを

確認し健康状態を把握。

徹底した消毒を行い、児童、生徒によるトイレ掃除は行わない。スクール

バスでは、窓を開けての換気や増便。マスクの着用義務。

第2波第3波対策で補助金2億2千万の使い道は

問 医療の混乱を防ぐ為

に、現時点でインフルエンザの予防接種を無償で受けられないか。児童、生徒に夏用のマスクを配

布出来ないか。学校、役場でのペーパーレス化。公衆トイレ、各地区管理

のトイレの清掃を感染防止策で委託出来ないか。

新たな避難所対策は。前町民に対して支援策は。

答 インフルエンザの無

償化は事務処理の問題で簡単な方法で受けてもら

えるように検討する。夏用マスクの取り扱いには財政と調整して考える。児童、生徒の学びを保障する為に、ICTなどを活用した家庭学習も見据えた環境整備を進める。役

場のペーパーレス化はオンライン申請やマイナ

バーを活用した市町村間では進んでいる。トイレの清掃に関しては、早急

社会福祉協議会と町の連携

問 全国どここの自治体も

社協と商工会三位一体で事業を進めている。河南町では、残念ながら商工

に考える。避難所には熱中症対策、3密対策を行う。各種支援策は全世帯、全住民に対して出来る事は全て実行する。

会は解散され、社協との連携は不十分である。コロナ禍では社協の役割は重大である森田町政になって社協に職員を派遣して全国同レベルの水準に戻していただきたい。

答 出資法人なのでいろ

んな制約などもあり、十分対応できる体制を構築していきたい。



▲感染防止策で公衆トイレなどの清掃は委託出来ないのか



▲役場庁舎での対応は



福田 太郎
議員

問 今後の子育て事業において

答 社会情勢に見合った事業展開を

問 若者や若い世帯主の定住支援や町外からの若い世帯主も河南町へ移住をしたくなるような子育てや、また子どもを産みやすい環境づくりについて町独自の施策は。

答 今後も住民ニーズに対応し、そのときの社会情勢に見合った事業を展開する。

問 河南町での子どもたちへの虐待対策との予防策の強化への取り組みについて虐待やいじめなど

の対策強化するために、文科省の肝いりのスクー
ルロイヤール制度を河南町にも導入したのか。

問 義務教育での学びの貧困対策について、町立小・中学校に通えない、

義務教育からの落ちこぼれた児童、生徒はいるのか。また、河南町教育委員会において義務教育による学びの貧困対策は新たにどのような取り組みをするのか。

答 小・中学校に就学すべき児童・生徒の現状は把握出来ており、通えていない児童生徒はいない。不登校により長期欠席している児童生徒については個々の状況に応じた学習支援を行っている。平成29年度からは、大阪府

富田林子ども家庭センターと協力して中学校を対象に学習セミナーを実施している。

今後の 介護保険事業において

問 現行の介護保険料段階設定は所得に応じて1

段階から12段階で設定しているが、日常生活にも困窮している一人、二人

暮らしの低所得高齢者や低所得世帯の介護保険料

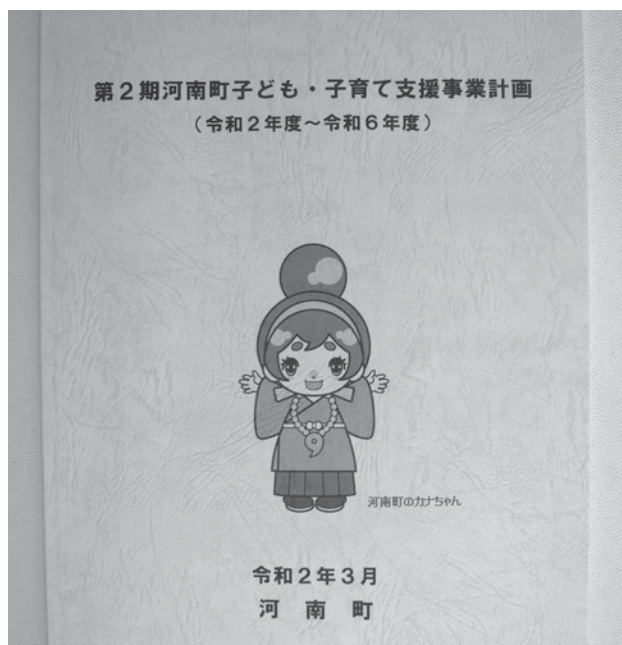
をさらに軽減を図る方策の一環として、次期第8期介護保険制度事業計画案での策定の際に介護保険料の段階設定を現在の上限12段階を4段階か5段階を増やして16段階か17段階に見直しをしてほしいが。

答 令和2年度は策定年となるので計画策定時の策定委員会において慎重に審議してもらいたいと考えてる。

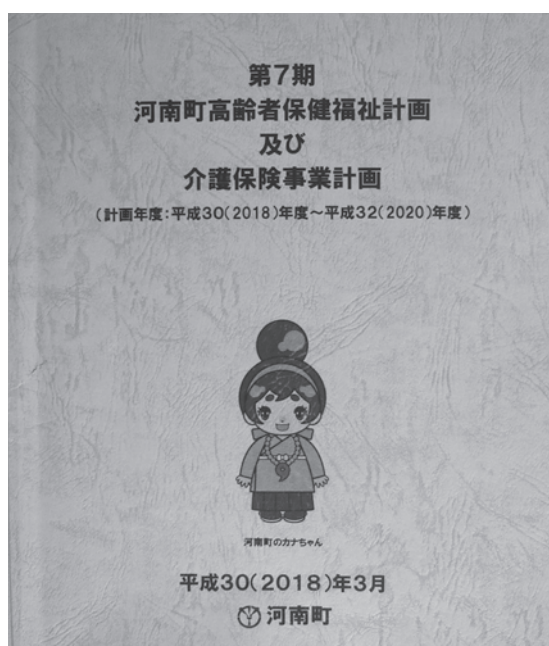
今後の高齢者 保健福祉事業において

問 今後の町包括支援センターでの保健師の人員体制の充実について、以前から地域包括支援センターの保健師を町内5地域で各1地域に1名ずつ配置するよう強くお願いしていたが。

答 保健師の更なる増員については事務職、技術職など業務状況に照らしたバランスのとれた配置になるように対応する。



▶ 子どもを産み育てやすい環境づくりについての町独自政策は



◀ 保険料の段階設定の見直しを



力武 清 議員

問 コロナ対策でPCR検査を

答 実態をつかむことが大事

問 南河内の首長間でPCR検査体の整備についての話し合いはされたか。

答 特に行っていない。

問 緊急事態宣言が出されている間、多くの事業者が経営的に影響を受けている。個人、中小業者が加入している国保・介護の保険料の減免を。

答 コロナの影響で収入減になる世帯は、令和2年から令和3年3月31日まで軽減を行う。徴収猶予の相談も行う。

問 町民税の軽減、納税の延期などの組織は。

答 納税してもらうことが原則。個別の事情を考慮し、納付相談は行う。

問 高校生、大学生に対する支援を。

答 補正予算でできるか、今検討をしている。

問 避難所のあり方が問われている。小・中学校の体育館にエアコンの設置を。

答 平時も含め空調設置は必要と考え、有利な補助金により財源確保出来たら、検討する。

問 ぶくぶくドームと大宝四丁目集会所を避難所指定に。

答 現段階では難しい。

富田林病院の存続

問 富田林病院の位置は。

答 妊産婦、乳幼児、産後ケア事業、特定健診、がん、予防接種。休日、急病診療など多くの保健事業に携わってもらっている。地域医療を担う総合病院であると認識して今後とも必要な医療機関である。

問 直近の利用者は。

答 外来が述べ1万1,135人。入院、5,447人。救急277人。休日213人。小児急診

69人。

難聴者への補聴器補助を

問 障害者手帳保持者への補聴器購入の公的補助は。

答 等級や補聴器の種類により、附属品含め3万



▲補聴器の購入補助を



▲土砂埋め立てに対しての町の対応は(予定地付近の交差点から)

6千円から14万5千円程度定められている。基準額の範囲で本人一割負担、非課税世帯の方は負担なし。

問 町独自に補聴器購入、加齢性難聴に対しての支援を。

答 公的支援に取り組んでいる自治体の助成対象、内容など研究していく。

土砂埋立に關して

問 持尾展望台の下あた

りに計画されている、残土処分の認識は。

答 事前に業者から説明を受け、埋立内容は把握している。

問 町としての関わりは。

答 水質や土壌の調査を義務付けしており、指導を行う。住民の安全を確保するよう指導していく。

問 交通安全対策は。

答 交通ルールを遵守し、中学校の登下校時間帯は避ける指導している。



中川 博
議員

問 公約の学校給食費無償化は 答 恒久的な財源調整を進める



▲ある日の給食の献立(かやくご飯、サバのソース煮、赤だし、牛乳)

気候変動の取り組みについて

問 3月の会議で「気候

問 児童扶養手当受給世帯への給付金3万円は予算化出来たが、町長公約の学校給食の無償化は。
答 コロナ対策で来年3月まで半額助成を行っているが、恒久的な制度にするため可能な限り財源調整を進めていく。

多胎妊娠婦への支援について

問 産後においても過酷な育児になることから厚

非常事態宣言」を決議したが、その後の対応は。
答 河南町地球温暖化対策実行計画の取り組みや、地球温暖化防止活動推進員および環境マイスターを組織し、対策を進めていく。



▲ 河内長野市が行っているモビリティ事業

地域公共交通について

生労働省は2020年度から多胎児家庭に特化した支援事業を始める。河南町の対応は。
答 今年度からの事業なので、半額助成の対応なども国と確認しながら研究を進めていく。

住み続けられるまちづくりについて

今後の方向性は。
答 地域公共交通の全体の体系が変わりつつある。その動向を注視しながら、河南町に見合った地域公共交通を検討していく。

SDGs未来都市

問 日本においては、世界に先駆けて自動運転および公共交通全体のスマート化を含む次世代のモビリティシステムの実現を目指している。町の
答 地方創生のSDGs

小中学校のGIGAスクール事業について

官民連携プラットフォームに入会した。そこで得た情報を活用し、「新しいまちづくり計画」の考え方に対応出来るSDGsの取り組みについて、検討していく。

問 休校中の学習指導は、オンライン授業が中心にならざるを得ない。教育委員会の考えは。

答 各家庭のネット環境の状況調査を踏まえて、家庭学習の支援策としてモバイルルーターの貸与も検討していく。

河南町総合福祉センターについて

問 かなんぴあは、町住民の福祉が中心である。会員料金の町外会員と更に差別化を図る考えは。
答 その点も踏まえ適切な運営を指定管理者に指導していく。



浅岡 正広 議員

問

新町長と新型コロナウイルス

答

対策本部会議を設置し対応を

問 森田町長誕生と時期を同じくして、百年に一度と言われる人知を超えた事態になった。

原因の新型コロナウイルスが猛威を振るって全

世界を窮地に追い込み、人々の日常生活を脅かし続けている。

誰もが不安に駆られる中、それら住民の不安を少しでも和らげるために、

町長自らの声で『住民に直接語りかける機会』を創ることを提案したところ行政の迅速な対応で防災行政無線を活用して住民に町長の声が届けられた。

な情報公開は誰もが求めるものと考えるが、対策本部ではどのように捉えてきたのかを町長に伺う。

答 防災行政無線の活用については、今後必要に応じて対応して行きたいと考えている。

また、有事の際、住民への正確な情報提供は、必要不可欠であると考えられる。

今後個人個人のプライバシーを十分考慮し、迅速に正確な情報を提供できるように努めていく。

ここに欲しかった
バス停留所

問 この度、本町の主たる交通手段である路線バス会社、金剛バス(金剛

自動車株式会社)様のご協力のもと7月1日より町内3か所にバス停留所を増やして頂けることになった。

それらは、新設2か所、ぶくぶくドーム前、スーパーオークワ北側、また復活1か所、白木バイパス沿ワイルド牧場入り口付近である。

いずれも長年にわたり地域住民の悲願であった。また、これまで私に届いた要望もその都度実現に向けての対応は行ってきたが、ようやく結果を



▲ 住民の思いが実ったバス停留所

そこで、今回のように町内で路線バスの形態の変更やバス停の新設といった対策で、住民の移動手段が改善出来る地区は他に無いのか。また、地域公共交通との兼ね合いも含めた運用方法について町長に伺う。

答 現時点で、路線バスに対する要望は無いが、今後も本町が運営するカナちゃんバス・やまなみタクシーとの兼ね合いも含めて、運用方法の研究を進める。



▲ 新町長の声をここから住民に

一方、新型コロナウイルス問題が浮上した初期段階で、本町に置き場を有するバス会社の運転手さんとガイドさんから感染者が出たことや、国からの緊急事態宣言中に町内一般住民の感染が認められたことは、誰もが知るところである。

しかし、その後の経過や回復状況はほとんど知らされないまま今日に至っている。

有事の際、正確で迅速



加藤 久宏 議員

問 府道柏駒線の危険性の認識は 答 歩行者の危険性は認識している

かなんシニアわくわく
商品券について

問 10%への消費税引き上げに伴うプレミアム商品券配布事業の実績は。

答 非課税者と子育て世代の対象者1,380人のうち、商品券購入率は78.2%。登録のあった町内事業者数は30店。スーパー、ドラッグストアなどの利用が全体の93.3%。

問 今回の商品券の登録事業者数は。

答 27店。

問 前回の商品券の利用実績から大型店舗への偏った利用になることは想像がつく、地域経済の落ち込みを考えると小規模店舗を支援する仕組みが必要ではなかったか。

答 次回、同様の事業を行う際には小規模事業者への利用促進について研究する。



▲ 府道柏駒線は歩行者にとって危険

府道・芸大付近の
歩道設置を

問 過去の経緯と現状について

答 平成26年3月に石川大宝両地区3,500名の署名を添えた要望書を府に提出。同年4月河南町議会からも要望。平成27年8月には、大阪芸術大学からも要望書の提出があり、町の副申を添えて府に提出。その後も毎年要望している。

問 町として危険性の認識は。

識は。

答 歩行者の往来において危険であることは把握している。

問 町長としての決意は。

答 早急に解決していくべき大きな課題であると認識している。府への要望と地域の方の協力が前提であるので、その辺りも考えていく。

アンダー22の評価

問 19歳から22歳までの医療費用無償化について、半年の実績、予算との差

は。

答 予算520万円を見込んだが、実績は177万円であった。

問 アンダー22の評価は。

答 対象者の人口定着が目的。住民基本台帳の人口などを指標とし、事業効果を検証する。

給食無償化

問 町長の公約でもある、政策実現に向けてどのように取り組むのか。

答 任期中の目標として

考えている。財源の捻出を検討した上で進めていく。

食のPR

問 町内産の野菜や果物の美味しさをPRしては、新規就農支援にもなるし、6次産業化へ発展すると思うがいかがか。

答 町だけでは難しいので、産学官の協力のもと、マッチングできるよう取り組みたい。



▲ 町内産野菜の美味しさを町としてPRできないか



田中 慶一 議員

問 森田町長の財政方針は

答 前町長の方針の継続発展

が本件は将来のことです。

教育

問 教育面で学力、体力の向上の方策は。

答 学びが出来る環境整備で側面支援をする。

問 生徒減少による小中学校の統合一貫校化の考えは。

答 子どもの減少はある

福祉

問 福祉面で地域の活動に参加出来ない引きこもりの高齢者への対策は。

答 脳の活性化、体力維持のため町も研究する必要がある。



▲効率が悪い循環バス

問 循環バス、やまなみタクシーは経費が高い。

基本的な目的は何か、独居老人、重度障がい者の非常時避難を考えるべき。

答 循環バスなどは町内に移動手段が少なく、路線バスでは移動出来ないからが主目的。経費面、利便性の点で改良を続けたい。地域で自主運行も出来るなら良い方法と思う。非常時の避難は地域ぐるみの対応が一つの方法。

農業活性化

問 農業活性化の構想は。

また農業振興地からの足かせの解放を早め、利用の自由度を広めるべきでは。

答 後継者作り、就農奨励や企業の参入を考える。農地規制緩和は都市計画マスタープランを見直している。

問 道の駅の今後の指導は。また新販売棟は狭く開放空間が必要と思うが、更に、砂ぼこりが多い東駐車場は放置するののか。

答 開放的空間は難しいが相談したい。東駐車場の財政支援が今見込めない。活用方法を担当部署と協議する。

問 林業のテコ入れはどうする。個人や森林組合任せでよいのか。

答 担い手が少ないという問題がある。治山治水は大阪府だが町も対応を考えていく。

人口減少

問 人口減少は年々70人から100人減少している。町の歯止め対策は功を奏しているのか。今後の作戦は。

答 人口減少は避けて通れないがまちづくり計画を今作っている。また、土地の規制緩和も検討しなければならない。

財政健全化

問 財政健全化の点で14年前と昨年度の借金、預金を比較してどうか。

答 平成17年度末の借金は100億7千万円、預金は28億3千万円。平成30年度末の借金は98億3千万円、預金は28億7千万円。

問 身の文政治の具体的な構想は。

答 令和2年度は少し緊縮してやっていく。



▲砂ぼこりが多い道の駅の東駐車場

議 会 日 誌

5月

- 1日 議会運営委員会
- 8日 臨時議会
- 27日 議会運営委員会

6月

- 2日 定例会議
- 3日 予算特別委員会
- 16日 議会運営委員会、定例会議
- 17日 一般質問
- 18日 一般質問
- 19日 懲罰特別委員会
- // 定例会議
- 29日 議会運営委員会
- 30日 臨時議会
- // 議会改革特別委員会

7月

- 6日 広報特別委員会
- 7日 一般会計決算審査

会議内容を紹介

6/30

河南町議会改革特別委員会

・委員長 加藤久宏 ・副委員長 佐々木希絵

町議会は、住民の代表機関としての責務を果たすべく、自らが議会の改革・活性化に向けての方策を調査検討する特別委員会を設置しました。議会改革特別委員会において、常任委員会の在り方について審議しています。議会機能の向上に向け活発な意見が交わされています。

7/6

広報特別委員会

・委員長：佐々木希絵 ・副委員長：力武 清

9月1日発行(今号)の議会だよりについて、広報委員会で協議を行いました。

協議の内容については、掲載する5月臨時会議、6月定例会議、6月臨時会議で審議された内容や委員会の質疑などで、新型コロナウイルスの対策の内容を取り上げて特集することや、それに関連した表紙を検討。表紙は、高齢者へ配布された「かなんシニアわくわく商品券」を道の駅で使用しているところを候補にすることなどを検討しました。また、「シリーズ・人」の候補者の検討や各広報委員の担当記事(内容)の割り振りなどを行いました。

農業委員会委員を任命

(14人・順不同)

同意

任期満了に伴う農業委員会委員の選任に同意しました。

- 谷口 正輝 さん (上河内)
- 福田 正穂 さん (神山)
- 奥野 淳一 さん (一須賀)
- 桑名 繁雄 さん (平石)
- 八田 士 さん (白木)
- 植田 喜代一 さん (加納)
- 田中 秀憲 さん (山城)
- 武田 文夫 さん (中)
- 西村 昌明 さん (持尾)
- 西川 久 さん (寛弘寺)
- 山本 澄子 さん (大宝五丁目)
- 中野 昭三 さん (白木)
- 和田 育子 さん (寛弘寺)
- 松本 浩一 さん (馬谷)

任期：令和2年7月20日から令和5年7月19日まで(3年間)

功労者の表彰

承認

(故) 武田 勝玄 前河南町長

平成18年4月から河南町長に就任し、連続4期約14年の長きに渡り在職し、住民第一に住みたいまち住みよいまち、住み続けたいまちを目指し、果敢に取り組んでこられた功労者として表彰することに承認しました。

監査委員を選任

同意

任期満了に伴う監査委員の選任に同意しました。

遠藤 忍 さん (大宝四丁目)

任期：令和2年6月7日から令和6年6月6日まで(4年間)

人権擁護委員候補者の推薦

(5人・順不同)

適任

令和2年12月末で任期満了となるため推薦に同意しました。

- 大城 一郎 さん (さくら城二丁目) 古川 雄二 さん (大宝二丁目)
- 田毎 宣隆 さん (大ヶ塚) 木村 恭子 さん (寛弘寺)
- 堀 久和 さん (白木)

任期：令和3年1月1日から令和5年12月31日まで(3年間)

シリーズ



(44)

—その道の達人から学ぶ—



「自分を生きる」ことは 社会を生きること

アソビバ
NPO法人 ASOVIVA

石原 亮子さん (神山)

今回は、寛弘寺にあるNPO法人が運営するフリースクール「ASOVIVA」の理事である石原さんにお話を伺いました。石原さんには3人の子どもがおられ、仕事や子育てに励んでいたある日、末っ子が「学校をやめる」と言い出したそうです。初めは戸惑ったそうですが、本人が無理なく通える場所を見付けて通わせていたら、今度は長男も不登校に。学校に自分を合わせる事が出来なくて精神的に傷ついた長男が、安心して通えるような場所は、なかなか見付かりませんでした。困り果てた末に、誰もが安心して通える場所を作ろうとASOVIVAを立ち上げることを決意されました。

ASOVIVAを立ち上げた当初は、通う子どもも少なかつたため、「本当にこの場所を必要とする子どもはいるのか」と不安がありました。続けていくうちに少しずつ人が増え、今では、小学生から高校生まで約20人が在籍しています。中には、大阪市内や和歌山から通う子どももいるそうです。

「子ども同士が話し合いで解決する」のがASOVIVAの面白さですが、大人の予想を超えるような問題解決をしたり、子ども同士が交流する中で驚くような成長を見せてくれることがあります。そんな感動的な瞬間に立ち会えるのが嬉しいと話してくださいました。

石原さんは、個人が社会に合わせる必要はなく、どこにいても自分らしく生きれば良いと考え、ASOVIVAの理念を「自分を生きる 社会を生きる」と掲げています。だれもが仮面をかぶらずに生きること、誰にとっても生きやすい社会をつくりたいと笑顔で話されていました。



▲ミーティング活動

新型コロナ対策 新規導入設備

新規導入設備

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、町の感染拡大防止策の一環で取り組んでいるものとして、図書館に消毒機、こども園と小・中学校の体育館に移動式クーラーが設置されたことで、8月6日に議員が視察を行いました。「図書消毒機」は、一度に6冊の本を30秒で消毒出来る能力があり、利用者が簡単に操作することが出来ます。貸し出し図書の消毒に活躍しています。また、移動式クーラーは、暑い季節の体育館内の授業で現在使用されており、また台風などの災害時には避難所で使用されます。



▲図書館の図書消毒機



▲小・中学校の体育館に設置された移動式クーラー

今回の表紙

河南町では、65歳以上の高齢者に町内の商品券取扱店等で使える商品券「かなんシニアわくわく商品券」を配布しています。ぜひご利用ください。偶然にも道の駅かなんでは、商品券を利用する人に出会いました。商品券を使うことで生まれる会話は、微笑ましいものでした。

編集後記

今号では、コロナ対策を大きく取り上げています。日々変化する情勢や情報に振り回されながらも、住民ニーズに応えるために、奮闘している様子が伝われば幸いです。今号の発行で現広報委員での活動は終了します。議会を分かちやすく伝えるという課題は困難な事も多々ありましたが取材に応じてくださった方との出会いなど楽しいこともたくさんありました。ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。